

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教学Ⅱ(CDクラス)	2	後期	必修	はい	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の精神習得の出口の部分を担当しているため、キリスト教学Ⅰの聖書の学びから発展させ、幅の広い教養を身につけるため、多岐に渡る内容のキリスト教芸術と文学に触れ、視野を広げる授業展開を行った。また、授業以外のチャペルの参加や、教会訪問なども評価に取り入れ、授業外でキリスト教に触れる体験の機会を設けた。</p> <p>②昨年度からの改善としては、毎回の授業中、ポートフォリオでの学びの確認だけでなく、Bible Note作成を導入し、出席率でしか評価できなかったチャペルでの体験的な学びが、毎回のチャペルのコメントをノートに張りつけ、見直すことができるようになった。また、このBible Noteには、授業外で聖書を読んだ時のコメントなども記入できるようにし、予習・復習に取り組みやすい工夫をした。</p> <p>③新しい試みとして、2年間のキリスト教の学びから興味をもったことをグループで調査し発表する機会を設けた。これについては、学生の関心にあわせて展開し、各クラス12種類のテーマについてお互いに学ぶ事ができた。</p> <p>③もう一つの新しい試みとして、学期の最後に「感恩奉仕と私」というタイトルでレポートを書き、2年間のキリスト教の学びの集大成をひとつの文章としてまとめる作業を行った。これによって、学生が聖書やキリスト教教育の学びから何をうけとり、卒業していくのが良く見えるようになった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、知識理解に関しては3.6ポイントであった。トータル成績の平均値は約81%以上。チャペルの出席率約80%以上とコメントカードの内容、教会訪問の出席率約90%以上と感想文の内容から、感恩奉仕の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。</p> <p>また、「感恩奉仕と私」というテーマの学生のレポートの内容から、90%以上の学生が、聖書について、キリスト教について、人生の基盤となるべき学びができたことから、全体をとおして教育目標が達成されたと言える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は本学の要となる聖書の内容を学ぶ「キリスト教学Ⅰ」の学びを踏まえ、展開している。聖書の学びを前提としての発展的な学びであるが、全体的に一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 著名な西洋の文学作品・芸術作品鑑賞を、聖書を土台として考察し、キリスト教に関連するテーマをグループで調査・発表するという行動目標については、初の試みであったが、講義だけでなく、グループでのアクティブラーニング形式を取り入れたため、学生自らで習得した内容も多く、内容的に妥当であったと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Bible Noteをキリスト教学Ⅰより導入したが、未だ、使用方法の指導が徹底しておらず、キリスト教学Ⅰに引き継いで使用する際、ノートの内容にかなりのばらつきがあった。2年間のキリスト教の学びの集大成として作成していきたいので、今後は授業外の予習・復習などで用いる事、チャペルのコメントカードを貼付け見直すことなどを、徹底していきたい。
本講義は、興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4.1であったが、引き続き、アクティブラーニングの手法を工夫しつつ、学生たちが自ら聖書を開いて、日常生活に応用できるような仕組みを作りたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

保育科では、今年度より、2年生後期の開講となり、「感恩奉仕」の学びの集大成としての位置づけが可能となった。本学の要となる「感恩奉仕」の集大成として学ぶ科目であるが、キリスト教学Ⅰを発展的に展開していく上で、Ⅰでの学びが重要である。Ⅰの復習もⅡでの講義に加えつつ、学生が主体となって行うディスカッションや調査・発表を取り入れ、学生が主体的に授業を展開できるように促している。授業の最後に記入するポートフォリオやチャペル出席・教会訪問に加え、それらの学びをひとつのノートに記録できるようBible Noteを作成し、さらに関心あるテーマについてグループで調査・発表し、最後に「感恩奉仕」とは自分にとってどのような意味を持つか、自分自身の心を洞察していく作業をおこなったため、前年度より、内容が深まったと言えよう。引き続き、学生の興味関心を引き出し、「感恩奉仕」について日常的に考えることができるよう促すことが課題である。

学科	保育科
氏名	大黒 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
心理学Ⅱ	1	後期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①1年生の場合、大学の講義に慣れるまでにやや時間を必要とする。生徒の中には集中力を欠く者もいるため、念入りなオリエンテーションと受講にあたっての注意を理解させなければならない。また、心理学は専門用語が多く理解が難しい場合もある。そのような問題を解消するために、基礎的な心理学と我々の日常に関わる事柄と関連づけて関心を引きつけるようにしている。</p> <p>②SNSやマスメディアを利用して、最近の保育に関する社会的問題(例えば、児童虐待など)の情報を集めるようにしている。また、5回目の講義では事例について演習方式で</p> <p>③8コマ目にノート提出、10コマ目に期末試験に関する模擬試験を行い、学生の復習への意識を高め、学習状況を確認するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートによると、到達自己評価の平均点の全てにおいて、①全くそうではない、②少しそうではないと思うと評価した生徒は一名だけだった。その項目も、講義が「職業選択の参考になった」というものだった。それ以外の項目は③～⑤と評定していた。また、授業の質評価項目については、生徒の全員が③～⑤と評定していた。このことから、生徒からの視点によると到達自己評価、授業の質評価もほぼ満足できるものと判断できる。ただし、図書館やインターネットを利用して知識を深めたものがいなかったため、次回の授業ではそのような課題も与える必要があると考えられる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学習到達度自己評価については、10名中10名が③以上の評定をしていた。このことから、自己評価ではあるが、科目の学習について到達目標は達成していたと感られる。また、自由記述の意見としては、「分かりやすく面白いです。」という評価をもらった。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今回の授業では学生が10名と少なかったため、学生に積極的に発言させたことはとても良かったと思う。できれば、2016年度の心理学Ⅱの講義でも学生には積極的に発言させる機会を与えたい。また、インターネットなどを取入れた授業をしていなかったため、次回はそのようなコンテンツも盛り込みながら授業構成をしたいと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

心理学の基礎知識を身に付けるという本科目の位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できた。また、心理学Ⅰは基礎であるが、心理学Ⅱは応用であるため、心理学についてより実践的な内容を学べる講義になっているが、今年度は心理学Ⅱを取る学生が極端に少なかった。これは、講義の時間帯が5限目というのも理由にあると思うが、学生が心理学に対してより興味を持てるように、心理学Ⅰについてもより自分たちの生活に照らし合わせて考えられるような内容にしたいと思う。

学科	保育科
氏名	柳澤 伸一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
歴史学	1	後期	選択	はい	3

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>現代の地方自治の源流を探究するという観点で、ヨーロッパと日本の歴史都市を取り上げた。受講生は少数であったが、受講動機では、「関心のある内容である」と「単位数を確保する」を選択するものが、ともに67%であり、比較的積極的な受講態度が期待できた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績は、授業の節目ごとに提出させた3度のレポートの評価を基に付けた。成績は、秀、優、良に分かれたが、全体的に良好である。到達度自己評価では、全体的に中央値前後であるが、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の項目は高く、職業選択に係わる項目は低かった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、一般教育科目の一つで、DP1に係わる位置づけがなされている。到達度自己評価に関する上記の評価に鑑み、内容的妥当性は、一応あった。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業は、毎回、テーマに沿って、レジュメ1枚と関連資料数枚を配布し、基本的に講義形式で進めた。常に、現代の地方自治の源流を探るという基本テーマを念頭に置いて授業を進めるよう心掛けた。講義を踏まえて、節目ごとに3回のレポートを課したことは有益であったが、予習・復習については、学生任せにしたきらいがあり、課題を具体的に与える姿勢が求められた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

講義を通して、ヨーロッパと日本の都市史について基本的な知識を獲得させるという課題は、一応達成できた。しかし、アクティブラーニングを促す工夫では改善の余地がある。

学科	保育科
氏名	柳澤 伸一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
女性史	2	後期	選択	はい	3

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>近代日本の女性の歩みと現代日本の女性の在り方とのつながりが理解できるように心掛けた。受講動機では、「単位数を確保する」を選択するものが多かった。必ずしも初めから積極的な受講態度は期待できない状況であったが、毎回テーマに係わって具体的な人物を取り上げて、その仕事の現代的意義がつかめるように心がけた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成されなかった	やや達成されなかった				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績は、良いし可で、同時開講の他科と比べて良いとは言えない。到達度自己評価では、中央値前後の項目が多いが、「コミュニケーション力や表現力を高める」項目が特に低かった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、一般教育科目の一つで、DP1に係わる位置づけがなされている。到達度自己評価に関する上記の結果に鑑み、内容的妥当性は、DP1に関して最低限あった。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業は、毎回、テーマに沿って、レジュメ1枚と関連資料数枚を配布し、基本的に講義形式で進めた。講義に当たって、常に具体的人物を取り上げ、その仕事の現代的意義がつかめるように心がけた。講義を踏まえて2回のレポートを課したことは有益であったが、予習・復習については、学生任せにしたきらいがあり、課題を具体的に与える姿勢が求められた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

講義を通して、近代日本の女性史について基本的な知識を獲得させるという課題は、一応達成できた。しかし、アクティブラーニングを促す工夫では改善の余地がある。

学科	保育科
氏名	富田 純史

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生物学	1	後期	選択	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 生物学の講義は選択のため学生の受講動機や学習背景が様々である。このため本講義では、生命の起源から多様な生物への進化、生命現象のメカニズムについて、学生ひとり一人が興味をもてるようになることを大切にしている。</p> <p>2. 抽象的な講義にならないように、わかりやすい配布資料に加えパワーポイント・ビデオなどの視聴覚教材を準備した。</p> <p>3. 講義時間の配分に留意し、(1)前段、(2)配布資料と黒板による説明、(3)視聴覚教材による補完説明、(4)今回・前回までの講義関連事項に関する疑問やコメントへの回答と説明を行った。</p> <p>4. 講義関連事項に関する疑問・コメントについては、講義直後に整理分類し、口頭だけでなくパワーポイントなども作成して次回での回答・説明に備えた。</p> <p>5. 昨年度からの改善点としては、講義中に学生への質疑を加えるようにした。</p> <p>6. 授業評価においては、単なる知識だけでなく本講義を通じて“いのち”の不思議さ、大切さについての理解をみた。このため、定期試験だけでなく全講義の後に実施していたコメントカードの記載内容にも重点をおいて評価した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	やや達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 定期試験の結果は大部分の学生が80点以上の満足すべき結果を示した。</p> <p>2. 早朝からの講義にも拘らず、欠席・遅刻がほとんどなく本講義への興味の向上を示した。このため、登録学生で失格になったものはいなかった。</p> <p>3. コメントカード記載内容は、講義の進行とともに量的・質的に増加し、講義内容関連事項への質問・コメントも増加した。</p> <p>4. 学生による授業評価においては、一部に予習・復習が不足している学生の存在が示された。次年度では、関連資料の収集やまとめなどのテーマを与えることを検討したい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>1. CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本講義は教養として選択、学科横断的位置づけにあるため、学生の本来の興味や教育背景が異なる。このため、“いのち”の大切さを様々な角度から考え理解させることが望ましい。全学生の出席率だけでなく各講義後のコメントカードの記載内容、定期試験結果には満足すべきものがあり内容的に妥当であったと評価する。</p> <p>2. DP、行動目標からみても内容的妥当性 講義内容に興味をもつことにより専門的な知識も増加していることが各講義後のコメントカードの記載内容、定期試験結果に示されており内容的に妥当であったと評価する。</p> <p>3. 以上により、本講義の内容的妥当性には問題ないとする。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

1. 授業の進め方については、各年度での結果をもとに改善してきたことにより一定の自己評価をしている。
2. 入学年度により学生の志望動機、教育背景と将来への希望が多様化している。このため、教育内容のレベル設定にはさらに工夫を行いたい。即ち、全体として視覚的にもわかりやすい構成の中により詳細な専門的なものを加えて行きたい。
3. 予習・復習については身近な材料を取り上げて実施させるようにしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

本講義は、学科横断的教養選択科目であるが、他の専門科目への学習意欲の向上と知識・理解の補完となるように設定している。講義中のコメントカード記載内容と定期試験結果から、これらの目標は概ね達成できたと総合的に評価している。しかしながら、入学年度により対象となる学生の志望動機、教育背景と将来への希望が多様化しているため、講義開始直後に各学生の講義への反応を注意深く観察することでその後の講義内容へ反映させることが重要だと考える。

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
スポーツ科学実技(ABクラス)	1	通年	必修	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は卒業必修科目であるとともに資格取得に必要であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学年は1年生(通年)であり、今後資格を取得するために、自己の体力について把握することは大切である。また、授業だけではなく卒業後も生涯スポーツとして運動を続けてもらうために、さまざまな競技を行いルール理解や技術習得ができるように工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	最終的な成績の平均は92.5点(S-34、A-2、B-1、C-2)である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「一般教育科目」における「自然科学系」に位置づけられており、卒業必修科目である。また、幼稚園教諭免許の必修科目でもある。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

体力測定を前期の4月と後期の1月に行うことにより、学生自身が体力の変化を把握できるようにした。また、さまざまな競技においてゲーム形式だけでなく、技術習得のための練習を取り入れ、学生がお互いに教え合うなどの姿が見られた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。バレーボールやバドミントン等の競技だけでなく、学生からの意見であったフットサルなどの競技もできるように、環境や道具を整備したい。また、安全管理のために今ある古い道具を新しくすることを検討したい。

学科	保育科
氏名	末廣 幸恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
英語Ⅱ(ABクラス)	1	後期	選択	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①教科書は英語圏における幼児指導向けの内容を扱ったテキストを使用した。②英語圏の子供向け番組や童謡、また日本昔話の英語版など保育科の英語学習に適した教材を取り入れた。③教科書はリスニング問題が中心であったので、参考教材を中心に単語の暗記、文法の解説、和訳、会話のペア練習を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績の平均値は92点、再試対象者は0名であった。標準偏差値はSは8名、Aは3名であった。高得点者が全体の約7割を占め、極端に点数の低い学生はいなかった。選択科目であるにも関わらず、学生は真剣に授業に取り組み、授業内で既習内容の確認作業を繰り返し行ったことが期末テストの結果として表れたと思われる。DP1においては「自分なりの目標の達成」「知識の確認、修正、新たに得る」の項目では約8割以上の学生が評価している。また専門分野に関する設問においても、英語圏の童謡や日本昔話の和訳等を教材に取り入れた為、高い関心と評価を示す学生が多かった。今後も将来の職業選択や職業倫理に繋がる教材の導入を継続的に行い、語学学習に対する興味や関心を持てるような指導を行うことが重要だと感じた。					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性：保育科のCPに明記されているように「短期大学士としての必要な教養を身につける」理念として、語学学習は目的になかった内容となっており、内容的に妥当性があると考えられる。②DP行動目標からみた内容的妥当性：DPの特徴としては学期末の試験結果と共に、到達度自己評価も全体的に高い傾向にあると思われる。教科書の適切性、取り上げられた話題への関心度、予習の義務化などにより、語学学習への関心は授業開始当初に比較して、高くなったと思われる。DPの「職業選択の参考」では高い評価を示す学生と低い評価を示す学生がおり、質問の趣旨を理解することに個人差がかなりあったと考えられる。保育科における英語学習の観点から、DPの「職業倫理」「職業選択」の項目には質問方法の工夫が必要かと思われる。全般的にクラスの雰囲気は良好で、真面目に英語学習に取り組んでいた。以上から内容的妥当性には問題がないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①授業の質の評価：オリエンテーションにおいて、学生が評価基準や学習の範囲や課題について、よく理解していた結果が授業の質評価に反映されたと考えられる。②学習量の評価：保育科は実習、レポートなどで1年時より専門領域の学習が多いため、既習内容を授業内で確実に身につけるように指導し、予習復習時間を短縮できるように配慮した結果、予習復習を行った学生が少なかったと思われる。但し、語学学習の習慣化を行うためには、一定量の宿題の必要性も検討すべき課題と感じた。③学修のための情報利用、図書館利用：選択科目にもかかわらず、シラバスを参考および活用にした学生はクラスの約3分の1であった。英語学習に対する関心度の低さが示す数字なのか、あるいはシラバスを参考にする習慣が身につけていないからなのかは理解できないが、オリエンテーションでの授業に関する情報の徹底化が必要であると感じた。図書館利用は皆無であり、情報収集も大切な語学学習の一つであることを指導する必要があると感じた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

保育科の教科書「楽しいリスニング・レッスン15」は保育現場で実際使用される場面や語彙が編集されており、学生が教科書に沿って学習することを有意義にしている。また、卒業後も保育現場で英語が要求される場面においても、ハンドブックとしての使用が可能であり、役立つ情報を提供していると思われる。但し、語学の授業には単位数の確保だけを目的にする学生が少なからず居るため、語学学習に苦手意識のある学生でも興味を持ち、前向きに取り組めるように指導面でも更なる工夫が必要だと感じた。

学科	保育科
氏名	金 銀英

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ハンゲルⅡ(ABクラス)	1	後期	選択	はい	4

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>初級レベルの語学力をつけるのがこの講義の目標であり、前期の「ハンゲル1」に引き続き受講する学生がほとんどである。全員の受講動機が外国語単位獲得であったので的を絞って「生活で使える韓国語」を目標に授業を進めた。またこまめに小テストを実施することにより学生に学習状況を認識するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>平均成績は87点であり、全員が80点以上の好成績を取った。また到達度自己評価の全項目にわたり平均値が学科平均より高い。また「7. 自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術をつけることができた」に対する評価が高いことから、学生たちの将来に役立てることができたのが分かる。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラム上の位置づけからみた内容の妥当性 全員がシラバスを参考に受講を決め授業の質評価でも学科平均より高い回答が得られたことから、授業が当初の計画通り進み、学生たちの満足度が高かったことが分かる。</p> <p>②DP、行動目標からみた内容の妥当性 教材を用いた予習・復習には時間を割く他に小テスト対策を立てて学習したことが学習量の評価自由記述(4)「授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習」で分かる。シラバスに明記しているように「積極的な姿勢での授業参加」ができたことが分かる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、全項目において高い評価を得られていることから授業進行に問題がなかったと思われる。教材を用いる学習以外の各自好きな方法で学習を進めているので問題ないと思われる。これからも学生たちが積極的に学習できる素材を紹介しようと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生からの「到達度自己評価」や「授業の質評価」で高い評価が得られたことから学生たちも満足できる講義内容と思われる。これからも韓国語と韓国の文化への理解を深められるよう工夫を重ねていきたい。

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教と子ども(CDクラス)	1	後期	必修	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本学のキリスト教の特色を生かした必修科目であるが、受講前はほとんどの学生が関心がない。そこで、以下の3点において、キリスト教に関心のない学生でも興味をもって取り組んで行けるよう工夫した。①キリスト教と保育の関係性について明確にすること②「感恩奉仕」の精神を生かした学びとして「世界の子どもたち」について調査し発表すること③キリスト教で学んだことのある聖書の物語を実際に演じてみる。この3点を柱にクラスを組み立てた。特に、②③は、学生自らが主体的に学ぶ訓練として導入し、「世界の子ども」の発表によって視野を広げ、「聖書の物語の劇」を創作することにより、監督を中心にシナリオを製作するなど、保育現場でも生かして行ける内容を工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度の自己評価①じぶんなりの目標を達成した(3.9)、②知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(4.0)、⑦専門分野で必要となる技術をみに付ける事ができた(3.9)、⑧コミュニケーション力や表現力を高めることができた(4.0)、などからわかるように、教育目標はやや達成されたと言える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本学のキリスト教の精神に基づき専門科目の「保育」を学んでいくという、ユニークな科目である。教養教育との違いが心配されたが、到達度の自己評価の中の専門分野に触れる質問に関し、平均値がすべて3.8であり、職業倫理や行動規範を学ぶ事ができた、職業選択の参考になったという部分についても平均値がすべて3.9であったことから、内容的に妥当であったと言える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「世界の子どもたち」の調査・発表を取り入れたこと、「聖書の劇」を取り入れたことは、学生の意見からもわかるように、妥当であったと言えます。しかし、劇に関しては、少ない時間の中で行わなければならなかったため、授業時間外での活動が必要になるが、授業外ではなかなか時間がとれない学生が多く、今後の授業の組み立てについて改善を検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

講義と演習とのバランスは妥当であったと考えられるが、演習の時間配分については、今後の課題として検討していきたい。興味があって受講する科目ではないので、いかに興味関心を引き出して行くかが引き続き課題である。

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会福祉(CDクラス)	1	後期	選択	いいえ	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業の実施に当たっては、社会福祉がわれわれの生活に密接にかかわるものであることへの理解を促すとともに、福祉の専門職である保育士に求められる知識の獲得に向けて、適宜、具体的な事例を用い、現場実践に引き付けて学びを得ることができるよう心掛けた。また授業開始時に小テストを実施し、予習、復習に対する意欲の向上と学習状況の把握につとめた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績評価としてS-15名、A-9名、B-12名、C-1名、D-1名であり、S、A評価を取得した学生が全体の約63%であることから、目標は概ね達成されたと考える。また再試対象者はいなかった。</p> <p>他方、学生による評価をみると、「学習達成度の自己評価」「授業の質的評価」の全ての項目に対して、72名中71名(98.6%)が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「専門科目」における「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられるもので、福祉系科目の基礎となる科目の一つである。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。DPでは、学生による授業評価の知識理解の観点での自己評価について98.6%が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。以上のことから内容的妥当性に問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の質問に対応する目的で、授業時間内に時間を設けたり、定期的にリアクションペーパーを用いるなどの取り組みを行ったが、個別の対応に終始してしまい、全体に対する丁寧な関わりやフィードバックを十分に行うことができていなかったと考える。この点を踏まえ、次年度に向けて、学生が質問しやすい学習環境づくり、リアクションペーパーの書式の改善などに取り組んでいきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標は概ね達成できたと考える。
先の欄であげた学生が発言、質問をしやすい学習環境を整えていくことは、学生の学びへの意欲を高めると同時に、授業内容への理解をさらに深いものとしていくために必要な取り組みであると考え。次年度へ向けて着実に改善を図っていきたい。

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助(CDクラス)	2	後期	選択	いいえ	50

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士資格取得のための必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業では、保育士に求められる相談援助の基本的知識と技術の獲得を目指すと同時に、保育場面における具体的な事例を用いた個人ワークやグループディスカッションを多く取り入れ、授業での学びをできる限り実践と関連付けて考えることができるよう工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された			やや達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績評価としてS-15名、A-14名、B-18名、C-3名であり、S、A評価を取得した学生が全体の58%であることから、目標は概ね達成されたと考える。また再試対象者はいなかった。</p> <p>他方、学生による評価をみると、「学習達成度の自己評価」「授業の質的評価」の全ての項目に対して、95～98%が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。しかし、上の二つの項目に対して、数名の学生は「少しそうではないと思う」「全くそうではないと思う」と評価しており、このような学生にいかに対応していくかが次年度に向けた課題である。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の本質・目的に関する科目」における福祉系の基本科目の一つとして位置付けられている。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。</p> <p>は、意欲関心の観点、技能表現の観点での自己評価について、95%以上が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。</p> <p>毎回の授業において、講義から演習へという展開を意識して行ったが、回を重ねることに学生各自のワークシートの考察に深まりがみられた。</p> <p>以上のことから、内容的妥当性は問題ないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業は、講義から演習へという流れを常に意識して展開した。演習では、事例を用いた個人ワークやグループディスカッションを行うことで保育場面を具体的にイメージできるよう配慮したが、事例の説明や解説に時間を要し、学生自身が考える時間を十分に確保できなかった。次年度へ向けて、教材の修正や事前に事例を配布するなどをを行い、改善を図っていききたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標は概ね達成できたと考える。
本科目は、次年度より前期開講科目となる。学生が現場実習に行く前に開講されることとなるため、本科目で得た学びを実際の実習場面や他の科目と関連付けることができるよう、意識的な取り組みを行っていききたい。

学科	保育
氏名	新内和美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
地域福祉論	2	後期	選択	はい	39

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	選択科目であるが、保育士資格取得等に有用な科目であり、子どもにかかわる専門職として必要な科目である。受講動機として、単位数の確保とともに、地域の子育て状況等への関心があるので、地域福祉と子育て支援との関係、他科目との関連性も理解できるよう授業計画を作成し、実施した。また、現代社会における地域福祉の現状等を理解することが、当科目を理解する一助となるので、ニュース等に取り上げられる地域で生活することの現状にアンテナを張るなど現代の事象に関心が持てるよう授業の準備を行った。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成されなかった	やや達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	テスト・小レポートの解答等結果から、テスト、レポート、提出物については、各単元の理解等目標がはっきりしていたので取り組み易かったと思われ、知識理解(DP1)についてやや達成されたと考える。しかし、図書館やインターネット利用で自発的学習し発表をすること等で習得する、志向判断(DP2)や技能表現(DP3)ははやや達成されなかったと考える。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	当科目が保育士資格を有して専門職として仕事に当たるときの有用さ、他教科との関連付けも理解させながら授業を行ったところであるが、「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述意見等に、「予習しなくともよいと思った」「することがわからない」等も見つけられ、更に自発的な興味を持って学習するための設定が必要であると思われる。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

知識の取得や理解等が授業の中心となっているせいか、学生にとって、受け身の授業となっていると感じる。自発的な関心を更に深めるために、事前に課題を与え、インターネットや図書館等で予習をして授業を受け、また、発表するなどの課題を設定して、積極的な授業参加を促す必要があると考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

試験やレポート等の結果から、パワーポイントや資料を使用した授業の進め方で、知識の取得や理解は一定の成果が出ているが、自発的な授業参加等の見地からみると、インターネットや図書館を利用した自発的な勉強やその発表など、自主的な授業参加等が不足していたと考える。今後、予習学習の発表やグループ討議の成果発表、意見の発表等、学生の授業参加を前提とした授業を進めていきたい。

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教育心理学演習(CDクラス)	1	後期	必修	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は資格取得に必要である科目であることを学生も理解しているため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかを希望する学生は全員受講している。受講学生は、前期の「発達心理学」において一通り子どもの発達について理解を深めている。また、10月～12月に実施される実習での経験より実際の子どもの像や保育者の援助についての理解が進んできている。そこで、前半は子どもと関わるときの保育者の教育的視点についての講義を中心に授業を進め、後半は学生が様々な場面における事例を取り扱うように配慮した。事例の取り扱いに際して、保育の現場では(実習においても)、まず自身がどのように援助するのかを考え、行動しなければならぬため、個で考える時間を設け、次に小グループでのディスカッションを通してさまざまな視点を持った対応方法について理解を促した。最終的にいくつかのグループの発表から、全体的考察を加えることにより、多様な対応について保育者の援助の意義についての意味づけを行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は平均85点(最高点97点、最低点72点、S-5人、A-22人、B-9人)である。75%以上の学生がSまたはAを取得しており、目標はほぼ達成されたと考えられる。</p> <p>学生による授業評価においては、「到達度自己評価」「授業の質的評価」に概ね「まあまあそうだと思う」以上の評価がなされている。しかしながら、「少しそうでないと思う」と判断している学生が数名いる。このような学生を見極め、学生自身が主体的に授業に参加できるように対応していくことができるようにするとともに、授業内容を精査することを検討していきたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置づけられており、幼稚園教諭免許状(必修)、保育士資格(選択)の科目である。受講生はいずれかの免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講の意欲は高い。</p> <p>また、DPに関しても、子ども理解、保育者としての対応など授業での事例を踏まえて実習に出た際、子どもと関わっている学生の様子も見られる。</p> <p>以上のことより、内容的妥当性には問題はないと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価得点の平均は4.16点であった。演習科目であるため、特に教員からの一方的な教授ではなく学生からの発言を中心に授業を展開することを心掛けたが、「学生参加の機会」や「質問の機会」の項目について「少しそうではないと思う」と回答した学生もいる。学習量の評価については、91%以上の学生が何らかの形で、記録をとって自分なりの方法でまとめることができているが「記録をしていない」という学生が数名いる。

以上の点より、学生が質問しやすい(発言しやすい)授業展開の方法や時間設定、ポイントを絞った説明などを心掛けるよう改善していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。

しかし、授業外の取り組みがほとんど見られないことから、本科目を受講することにより他の専門知識の習得への意欲につながるように、適宜授業内で関連する情報を提供するなどしていきたい。

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもの保健 I a(Dクラス)	1	後期	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格を取得するためには必修であり、本学科はほぼ全員が保育士資格取得を目指して履修しているため、受講動機も「必修」という意識が高く、「必修科目である」が91.3%であった。「子どもの保健」は、本科目から始まり、3期5単位の科目である。その第1段階の科目であるため、基礎的知識の習得としては重要な位置づけである。しかしながら、内容が難解な医学的知識であるため、理解までに時間を要すると思っている。そのため、授業内容を自分のことばでノートを作成することを課し、自然と予習復習に時間を費やすように仕向けている。また、保育士資格取得のためだけでなく、将来子どもを産み育てる母親として、必要な知識や技術を盛り込んでいる。この想いは、学生にも伝わったようで、授業評価の自由記載に「もっと知りたいと思うことがたくさんあったのと、自分が親になったとき役に立つことがたくさん学べた」という記述がみられた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	達成された	やや達成された		

<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>達成度評価としての、評価基準に基づく成績評価の平均点は84.44点であり、秀は6名、優は7名、良は4名、可は1名であった。評価基準の半分強を占めている定期試験の結果は、平均点82.72点であり、総合評価との差異はそれほど生じていない。学生の授業評価による達成度評価と成績評価を比較すると、若干成績評価が低値であり、DPの評価基準からすると標準レベルの達成度であるが、学生はそれ以上の達成度を感じていると考えられる。しかし、今年度は、Dクラスでは再試験該当者が皆無であり、学生間の格差はなく学修できていたと評価できる。</p>
--	---

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本科目は、3期にわたる「子どもの保健」5単位の最初の科目である。そのため、正常な子どもの解剖学生理学的知識と基本的な保育園でおこなう養護技術や衛生管理を取り扱っている。この内容が習得できなければ、次期の「子どもの保健 I b」の授業に影響を及ぼしてしまいます。科目オリエンテーションの時には、カリキュラムマップの該当部分を特に抽出して説明を十分におこなった。授業を終了した現時点では、全ての学生が次期「子どもの保健 I b」を受講するにあたっての基礎的知識は身につけていると評価しており、内容的妥当性はあったと思っている。</p> <p>②DP、行動目標からみても内容的妥当性 授業評価の集計は、全クラス合算であるため、Aクラスの学生がどのような分布だったかは定かではないが、学年としては、平均値が4.0以上である項目は、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」平均値4.2、「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」平均値4.0、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」平均値4.0、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」平均値4.0であり、どれもDPに合致しているため、内容的妥当性があつたと評価している。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

シラバスに、具体的な教科書ページを記載し予習に充てるよう指導してきた。その効果か、授業を履修するにあたりシラバスの記載を参考にしている学生が多い。また、授業内容が難解であるため、できる限り専門用語を用いないよう、具体的およびイメージしやすいことばを選び授業をおこなった。その結果、授業評価においては「説明は理解し易いものであった」平均値4.2、口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた平均値4.2と回答されていた。しかし、図書館利用の回答が少なく、授業からの発展性が乏しいことがうかがえた。今後は、授業内容よりさらに発展して調べ学習などをしたくなるような授業をしていきたいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学生の授業への取り組む姿勢も真剣で、自由記載にもあるように「この科目はすごく保育者としての責任を感じられる科目で、初心の気持ちにプラスアルファの気持ち加わり、新たな知識を深めていきたいと思いました」「もっと子どもの保健について知りたいと思いました。また、この授業を通して、自分が将来就きたいと思っている職業はとても責任が重くて大変だと改めて思いました」という記述があった。現時点では、学生達の学びたいという意欲に十分応えることができていないと反省している。今後は、学生の満足感が得られるよう、量的にも質的にも授業および課外での学修支援を充実させていきたいと思っている。

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもの保健Ⅱ(Bクラス)	2	後期	選択	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格を取得するためには必修科目であるため、本学科はほぼ全員が保育士資格を取得することから必然的に「必修科目」との認識がされている。そのため、受講動機の90%以上が「必修科目である」と回答している。本科目のDPが「思考判断」および「技術表現」になっていることから、現場で使える技能習得を目指した授業内容を心掛けています。そのため、実技指導はもちろんのこと、状況分析能力および判断能力を養うため、ロールプレイングなどの方法を取り入れ、実践的に学べることを目指した。その結果、自由記載には「実技も難しいものもあったけど、絶対に保育者になった時に必要なものばかりで、大好きな授業でした」との記述がされていた。実習を積み重ね、着任が目の前にある2年生にとっても必要性を十分感じながらの学びへの姿勢が取れやすかったのではないかと思います。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された		達成された			やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>本科目の成績評価の平均点は91.72点であった。秀が21名、優が2名、良が1名、可が1名であり、不可はいなかった。演習科目であるため、授業に出席できなければ必然的に成績は低く、学生達の授業への取り組み度が非常に良好であったため、相対的に秀が多くなった。学生の授業評価結果とも乖離は見られないため、全般的に理想的レベルまで習得できた学生が多かったと評価している。ただし、内容的には、技術的な習得は成果が大きかったが、判断を求める単元の評価は理想的レベルまで達したとは言えないものがあった。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は、1年後期の「子どもの保健Ⅰa」、2年前期の「子どもの保健Ⅰb」に続いた科目であり、保健・栄養・障害児等の各科目との関連性も高く、それらの知識を踏まえた演習科目であるため、統合的な内容と位置付けている。学生達の学びの中でも、各科目で学んだことを踏まえ、課題に取り組む姿が多く見られた。カリキュラムマップでの系統性および段階的教育が自然と感じられるようになっているため、CP、カリキュラムマップ上の位置づけおよび内容的妥当性はあったと評価している。</p> <p>②DP、行動目標からみた内容的妥当性 本科目は「思考判断」「技能表現」に重点を置いている。学生からの授業評価においても「知識を確認、修正したり、新たに得ることができる」平均値4.2、「自分が学ぼうとしている専門分野についての的確に判断する力を得ることができた」平均値3.9、「自分が学ぼうとしているせんもんぶんやについて、学びを深めたいと意欲を持つことができた」平均値4.0とDPに該当する項目がおおむね4.0であったことからDPおよび行動目標に対する科目の内容は妥当性があったと判断している。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

既習の「子どもの保健」は、知識の獲得が主であったため、ノート作成により学修効果を高めできた。しかし、今期の「子どもの保健Ⅱ」は、養護技術を中心とした演習で構成されているため、学習量の評価は、授業の記録に関しても「ノート作成」は少数で、大半が「主に配布資料に記録した」であった。この方法は、奨励している方法であり、問題はないと考えている。予習復習に関しては、全てが実技であるため、個人での練習等は難しく、課すことに無理があると考えている。しかしながら、図書館利用の項目では、思っている以上に自己学習や調べ学習をして学びを深めていたということが分かった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

実技が主での授業内容であるため、授業時間内にしか学修ができないのではないだろうか、と、授業時間内を最大限使用しての演習をおこなってきた。そのため、学生達には演習の準備後片付けは課していない。その分、十分に学びきってほしいと思っている。しかし、学生達の授業評価を見ていると、時間外でも科目内容について学修を深めていることがわかり、また、深めたいと思っていることがわかった。今後は、学生達がさらに学びを深められるように、自己学習をどのようにしていけば効果的か、また、必要なことはどのようなことなのか、をアドバイスしていき、学生の学修への意欲をさらに引き上げていくことができるように学修支援をしていきたい。

学科	保育科
氏名	出末 登代子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもの食と栄養(Bクラス)	2	前期(後期)	選択	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>◎調理実習及び一部の演習は、グループで取り組むためリーダーや役割分担を決めるなど事前の計画を立てるように促した。また食育実践発表(調理・演習)においては、早期から準備に入り主体的に取り組めるようにした。</p> <p>◎幼児期の食育は『子どもみずから「楽しく食べる」』※1を目的に子どもが主体的に(みずから)取り組むことを目標にしている部分もある。このことから、学生が学んだ体験を幼児期の食育・クッキング保育にスライドできるように、レシピを調べ、献立の組み合わせを考える課題を課した。今年度は新たに間食のレシピを調べ、調理体験をとり入れた。</p> <p>※1根拠 「保育所保育指針」「楽しく食べる子どもにー保育所における食育に関する指針ー」(厚生労働省)の食育の目標及び内容より</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>		<p>◎DP1知識理解においては、「到達度の自己評価」(2)を確認・修正し、新たに知識を得ることができた。平均値4.0 / 中央値4.0であった。調べる必要のある課題に対してインターネット等の「利用した」ものが70%であった。またこのクラスは、最終成績が80点以上の者が82%であった。以上よりDP1は【達成された】とした。</p> <p>◎DP5技能表現においては、「到達度の自己評価」(7)自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた。平均値3.7 / 中央値4.0であった。子どもへの養護技術の実施としてとりいれている「食育実践・取り組み発表」は13.4±2.0/20点と点数は高くないが、「実践発表・食文化(8.8±1.2/10点)」と比較して、短い期間で一所懸命に準備をすすめている様子がうかがえた(演習記録表及び提出物より)。また、このクラスの「給食事前指導」は、教材をみずから工夫して実践した学生が数名みられた。以上よりDP5は【やや達成された】とした。</p>				

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>◎DPの位置づけからみた内容的妥当性 到達度の自己評価『④わりにそう思う ⑤かなりそう思う』部分において「学習到達度の自己評価」項目で、上位は(2)知識の習得と(7)技術を身につけるの項目であった。・当教科のDP1とDP5と関連性が考えられる。このことから内容的妥当性は評価できるのではないかと推測される。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

◎配布資料の内容をふりかえり、より理解しやすい教材や資料の活用に努めたい。

◎「情報利用」においてシラバスを参考にしたものが53.5%と少ないので、予復習のためにも情報利用を促したい。

◎演習の一部に調理実習を実施しているが、日ごろ料理をしないものが多かった。「料理をする回数」0回/週・約50%、1～2回/週・約20%(事前アンケートN=48)であった。調理実習内容の見直しをおこないと考えている。

◎『忙しい・する気にならない』→「子どもの食と栄養」は単に知識を覚え理解する教科ではありません。自身の食生活の姿勢も問われます。『忙しい』日常でも、食べることは毎日かせませません。自身の食生活に目を向け、簡単なことから始めてください。体に「おいしいもの」を食べることを考え、たまには「食事(栄養)バランス・主食・主菜・副菜の組み合わせ」をふりかえってください。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

課題としては、保育の専門外における調理や栄養の専門用語の理解が難しい様子が授業でうかがえた。改善策については、配布プリントや課題内容の見直しをおこないたいと考えている。

グループでの取組みはグループの協力度、またリーダーにより若干差がみられた。しかし、リーダーを任された者は全員まじめに取り組んでいた。グループ別での取組みに関して、まじめに取り組むをおこなう学生が不利にならないよう配慮したい。

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
病児保育演習	2	後期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「専門科目」の本学独自の選択科目であるため、医療保育や病児保育に関心が高い学生しか受講しない科目である。受講動機も「関心のある内容である」は90%であることから意識の高い学生が受講した。開講時は、受講生の関心や就職希望先がどこにあるかを聞き取り、将来の業務に活かせる内容にシラバスの範囲内で調整をおこなった。今年度は、医療保育系に就職を希望する学生がいなかったため、まずは、病児保育室とはどのようなものなのか、園児が体調不良になった時に、園をおやすみした時にどのように過ごしているのか、などをイメージできるように授業内容を考えた。事業評価での自由記載では、「記憶に残りやすい説明で忘れなと思います」との記述があった。できる限り実際の事例を用いておこなっていたため受講生に残る内容ができたのではないかと考えている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された			達成された		やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>本科目の受講生は履修登録上、12名であったが、途中選択科目であることから、単位を取得することより興味ある内容だけ受講したいという学生がいたため、成績評価の対象人数は10名であった。10名の成績評価は、平均93点であり、秀が7名、優が2名、良が1名であった。評価基準に従った成績評価と学生の授業評価での回答も極端な乖離はなかったと考えている。科目の習得状況としては、おおむね理想的レベルには達したと判断できる。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は、昨今北九州市内でも重要性が認識され、増えてきている病児保育について取り上げている。この科目を準備している養成校は、九州では見当たらない。そのため、CPIに掲げている本学独自の科目としての位置づけおよび内容としては妥当性があると思っている。</p> <p>②DP、行動目標からみた内容的妥当性 本科目は、卒業必修でも資格免許に係る必修科目でもないため、完全な選択科目である。そのため、関心が高い学生しか受講することはなく、学生たちの満足度を得られるようシラバスから逸脱しない範囲で内容を微調整をおこなった。その結果、「自分なりの目標を達成した」「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びをふかめたいと意欲をもつことができた」「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の項目は、平均値4.0以上となった。このことから、DP3およびDP5としての内容で、授業評価の学生の自己評価も合致しているため、妥当性があると判断できる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

2年間で資格免許を取得するために必要な科目数が多く、自己学習の時間の確保が常に困難な状況である。そのため、この科目は、完全な選択科目であるため、授業時間内で学びを深められるように取り組んできた。学生の授業評価では、授業内で提示もせず、求めてもいなかったため、予習復習時間に関する回答は「0回」を予想していたが、予想に反して「6回」との回答をしている者が12名中2名もいた。また、「図書館利用」の設問に対して、「この授業では、図書館の図書、雑誌を利用した」という回答が6名おり、自分自身で学びを深めていたことが分かった。実際の現場での事例や、病児に対するあそびなどを演習として取り入れたため、関心が高まり、自己学習につながった可能性があると思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

本科目を受講する学生のほとんどが、医療保育に関心があり、2年前期で医療保育概論を受講している。そのため、基本的な知識は前期のうちに習得しており、今期はどちらかというと実践的な内容で学生達の学修への意欲を保持できた。しかし、2016年度は、履修規定改正により、医療保育概論と同時に本科目が開講される。そのため、今年度のようなスムーズな理解と実践的内容のみでは達成目標およびDPの到達には至らない可能性がある。2016年度は、医療保育概論との兼ね合いも考慮した具体的な授業内容を考えていく必要があると思っている。

学科	保育科
氏名	岩田 美穂子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容の研究・環境(ABクラス)	1	前期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>幼稚園免許及び保育士資格取得のための必須科目である。そのため、保育科1年生全員が登録して受講していた。ただし、ごく一部免許・資格取得の辞退を考えている学生はいたようである。</p> <p>①授業の内容からして、できるだけ具体的、体験的に学習を進め、領域「環境」への全体的な理解が深まるように配慮した。</p> <p>②開講時の学生は、まだ保育現場の実際に理解が浅く、見学実習などでも幼児や保育者の動きには注目するが、保育環境には注目することが少ない。そのため、学内の散歩や自然観察を取り入れたり、実際の遊びの演習から発表を行うようにした。</p> <p>③遊び活動そのものには、興味を持ち喜んで参加するが、その保育のねらいや保育内容についての考察を深めるところまでには至らなかった場合があった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は75.4点(±25.0)であり、再試験対象者は0名であった。74名中5名は標準的レベル(試験及び提出物の評価合計を70点以下と設定)に達することができなかった。一方32名は理想的レベルに達(80点以上と設定)したと考えられる。</p> <p>学生の到達度自己評価では、(1)自分なりの目標を達成したの項目で73名中3名が「少しそうでないと思う」と答え、他の項目の知識理解に関してや技術を身に着けることができたという観点でも4～7名の学生が「少しそうではないと思う」という残念な思いを表している。自由記述の中に「授業がよくわかりませんでした」という意見が一件あり、教員の学生理解と援助が不足したことが反省される。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、CPカリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価 本科目は、卒業必修ではないが幼稚園教諭免許状及び保育士資格取得のための必修科目である。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。ごく一部免許・資格取得を辞退することになった学生もいて、実習などの話題になると学生に戸惑いが見られるが、個別に支援することで内容的には妥当であると考えられる。説明がわかりにくいというコメントや評価があったので、この点を厳しく反省し今後は学生の立場になって丁寧に授業を進めていきたい。</p> <p>②DP:行動目標から見た内容的妥当性 DPの観点では、全般的評価に当たる「自分なりの目標を達成した」の質問に③まあまあ そうだと思う、④わりにそうだと思う、⑤かなりそうだと思うと答えた学生が95.9パーセントである。このことから内容として妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的には妥当性に問題はないと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の評価において、(4)授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた の項目で、「全くそうでないと思う」が1名、「少しそうでないと思う」が4名いた。演習の授業でもあり、そのような時間を設けたつもりであったが、参加していなかったのか、又は授業方法の持ち方が望ましくなかったのか反省している。改善策としては、方法をはっきりと明示しつつ、話し合いが進む方法や発表の雰囲気づくりを工夫していきたい。
(5)「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の項目においても①「全くそうでないと思う」の解答が1名、②「少しそうでないと思う」が6名いた。最後の10分間を質問タイムにしていたが、あまり積極的な質問がなかったため、今後はその時間は持ちつつ、コメントカードやノート提出などを実施して、さらに質問を掘り起こせるようにしたいと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

わかりやすい授業をすることが、課題であることが分かった。たくさんのことを伝えたいと思うあまり、多くを語りすぎることを止め、簡潔にスモールステップで一つ一つ段階を踏まえて、保育者養成をすることを大切にしたい。開講時期と季節の関係で、小動物や草花の飼育栽培の点で困難が多く、具体的な演習内容を授業中に十分行うことができず、課題として提案したが、多くの学生が意欲的に取り組んだ。予想外に課題に必要な物以上の作品や栽培を行った学生がみられた。このように学生の興味を引く具体物や演習から、さらなる情報や図書館の利用が進み、自発的な学びの方法や研究心が深まるように導いていきたい。

学科	保育科
氏名	下山 祥子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容の研究・言葉(ABクラス)	1	後期	選択	いいえ	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①1年生後期で教育実習前の授業でもあるため、各年齢に応じた教材作り及び、教材作りにあたっての工夫点と作成意図についてグループ協議を図った。また発表にあたっての配慮事項と子どもへの言葉のかけ方等について具体的に各自実践を行うことで、保育の場で少しでも慣れる機会を与えることに心がけた。この授業ではグループ協議とグループ作成を中心にして、協同的精神を身につけてほしいとの観点から授業を進めていった。</p> <p>②受講動機を見ると、「必修科目である」が80.6%で、また「資格取得に必要である」が38.8%であった。将来保育に携わるものとしてより興味・関心を示して欲しい内容であるが、このパーセントをどのように捉えればよいのか考えざるを得ないところである。</p> <p>③毎回授業のめあてを明確にするため、プリントにて授業内容を記述するようにした。また前回の反省から前期の「子ども文化」で学んだ内容をより生かすことと、前年度で作成したものを提示して具体的に授業内容に興味を持たせるようにして、コミュニケーション力や表現力を高めるための方法を考えたが、今後はより授業方法を工夫する必要がある。</p> <p>④保育者としてより必要な授業内容であるため、幼稚園教育要領と保育所保育指針の内容により重点を置いていくことと、その説明をわかりやすくする必要がある。「説明が理解しやすいか」が半数以上あったが、まだまだ十分ではないことを感じるのその点は今後の課題である。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は、80.4点であった。欠席が多く受験資格なしは2名、再試対象者は0名であった。理想的レベルに達した学生は48名であり、標準的レベルの学生は22名である。合計70名(92.1%)の学生が標準以上のレベルに達している。目標別にみると、専門分野として保育に必要な基礎技能を身につける技能・表現については53.7%程度である。保育に必要としていることは理解しているが、それに伴う工夫性や関心の度合い、コミュニケーション力がやや乏しいように感じる。したがって共同作業の場合などで協働の在り方や実技の場で表現力が身につく方法を授業の中に取り入れたが、今後はより力を注いでいく必要がある。目標別の知識理解については、58%程度である。保育者として基本的な内容だけに資料等を配布して講義を行ったが、視聴覚機器を活用しておこなうことが今後の課題である。また各自が予習・復習を十分にできていなかったことは残念であり、そのための次回の課題を確認し合う必要があると考える。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 本科目は選択科目である。しかし幼稚園教諭や保育士に必要と考えている内容であるためか受講する学生は多い。学生も知識習得に必要なとなる教科だけに、内容的には妥当である。 ②DP、行動 この観点では、「自分 ③まとめ 目標から見ての内容的妥当性 分なりの目標を達成した」点で③まあまあそうだと思う ④わりにそうだと思う ⑤かなりそうだとおもう と答えた学生が97.1%であった。技能・表現の点で授業方法の工夫に努めた結果だと思うので、内容的には妥当であると考えられる。 以上の点から内容的妥当性については問題がないと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価ではどの項目も平均値が3.8点である。その中で「説明は理解しやすかったか」についてはやや低い数値であったので、今後はその点について視聴覚教材を活用して工夫する必要がある。評価基準については随時説明していたが、全学生に徹底していなかったと思われる。また、毎回授業の内容とねらいを示していたが、その内容に関しての予復習はあまりとっていないことが示されている。それに対しては「時間が取れなかった」とあるが、準備内容が明確に伝わっていないことも原因ではないかと考える。次年度に向けては、①評価方法を明確に伝えていく。②保育者の質向上に向けて、実践の機会をより多く与えていく。③保育内容の理論面で十分に表現できないこともあるので、その点について授業方法を工夫していく。ことがあげられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学生の授業の関心や取り組み方、評価結果を見るとおおむね目標は達成していると思われる。現場に役立つ内容として教材研究と発表を主として行ってきたが、教材研究一つにしても具体的に細かく説明していかないと興味をもって取り組む姿勢がうすれていく可能性がある。現在の学生に手を使う活動、体を使う活動に関心をもち、見たり、聞いたり、演じたり、互いに発表し合ったりする経験を多くする必要があると感じる。そのための授業方法を改善していきたいと考える。

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育相談支援(ABクラス)	2	後期	選択	いいえ	45

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は、ほとんどが免許・資格に必修科目であるためであり、科目へのモチベーションというよりは、保育職へのモチベーションを持って受講していると考えられる。そのため、保育現場での実践を意識した授業内容としている。現場で多く出会うような事例を準備し、それについて考える時間をできるだけ多く取るようにしている。ただし、臨床心理学や対人コミュニケーション、メンタルヘルスについての基本的な知識を伝えることと並行して実施しており知識と実践のバランスに注意しながら授業の計画を立てた。また、現場で様々な事例に対応するために、個別の方法やマニュアルではなく、基本的な考え方や視点の持ち方についての理解が深まるよう留意した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された			やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>学生のトータル成績の平均は77.4点で、教育目標はおおむね達成されていると考えられる。また、アンケートの達成度自己評価のうち、「(3) 事象を理解する視点や考え方を得ることができた」に「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と回答している学生を合わせると40%になり、その点からも、教育目標がおおむね達成されていると考えた。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目に関するDPの項目である意欲関心に対応するアンケートの自己評価項目は、「(6) 学びを深めたいと意欲を持つことができた」であるが、その項目に「わりにそう思う」「かなりそう思う」と回答した学生は、38%であった。また、DPの技能表現に対応する項目である「(7) 技術を身につけることができた」には45%、「(8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた」には40%の学生が「わりにそう思う」「かなりそう思う」と回答しており、学生が授業を受けた手ごたえとして感じていることと授業の目標が一致していることがうかがえる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方、評価基準などについて、教員の意図が学生に十分に伝わっていないところもあったようなので、特に授業の進め方の意図などは15コマの講義の冒頭だけではなく、繰り返し伝えていくことが必要であると感じた。授業外での学習については、実践的な行動をすることも学習であることを授業の中でもさらに伝えていくことで、日常のコミュニケーション場面でもこの授業からの学びを深める時間となっていることを学生が意識できるようになるのではないかと感じた。また、この授業に関連して図書館の利用やデータベースの利用をしたと回答している学生がおり、教員の指示以上に学習が広がっていることがうかがえた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

教育目標は、おおむね達成している。今後は、授業の進め方や評価方法の意図を学生によりわかりやすく伝えていく工夫が必要であると考え。また、授業外の学習について、日常のコミュニケーション場面で学習内容への理解を深めていくということについて、説明することにより、学生の意識変容につながるのではないかと考えられた。

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
障害児保育 I (ABクラス)	1	後期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>障がい児についての講義科目であり、障がい児について授業で学ぶことは初めての学生がほとんどであることから、基本的な知識を広く身につけることを授業の目標とした。様々な障害を持つ子供たちの特徴とその保育の特徴についての学びの入り口となるよう、講義内容や教科書の選定、参考図書の紹介などに配慮した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>達成度自己評価項目に対して、ほとんどの学生が「まあそうだと思う」以上の評価をしており、ほとんどの学生が手ごたえをもって受講していた様子がうかがえる。成績評価の平均値は85.4点で、十分に目標に到達していることがうかがえる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける位置づけは、一般的な保育・幼児教育についての学びと並行して、障がい児についての知識を身につけ、演習科目である「障害児保育Ⅱ」へとつなげるものである。成績評価と学生の自己評価から多くの学生が基本的な知識を身につけることができたことと評価できることから、内容的な妥当性があると考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の中で、グループ学習と発表を取り入れ、学生の自主的な学びとプレゼンテーションのスキル向上も考慮しているが、図書館利用についてしなかったと回答している学生が48%おり、グループ内で学習量に偏りがあることがうかがわれる。それぞれの学生が自主的な学びのためのスキルを身に付けられるような工夫が必要であると感じた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

多くの学生が授業目標を達成しており、授業内容も妥当と考えられる。今後の課題としては、グループ学習の中で、学生のコミットメントに偏りがあり、十分に学習を深めたり学習スキルを身に付けていない学生がいるかもしれないことから、そのような学生の参加を促進するための工夫が必要である。

学科	保育科
氏名	北野 久美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
乳児保育 I (CDクラス)	1	後期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>*授業の実施に際して、一年半後には現場に出る学生がほとんどのため、出来るだけ現場発想の授業になるように配慮した。また、教科書に添いながらも、その項目ごとに現場の実際を盛り込んでの授業の進め方に重点を置いてきた。しかし、学生の自主的な参加を求め、能動的な態度を養いたいと、強制するようなことをしなかつたことが理解されず、一部熱心な学生には繰り返しが多かつたようだ。</p> <p>*教科書の章に添いつつも、内容によってはそのボリュームに違いを持たせ、個人ワークやグループワークを取り入れ、実践に結び付けた。</p> <p>*資格取得のための必修科目ではあるが、全員が履修していないことに対し、この学科を選択した意味を今一度確認する必要があるとも考える。そこで、授業では現場の様子をわかりやすく知ることが出来るようDVDや連絡帳等実際の師方が可視化できる工夫をし、現場よりの感覚が身に付くようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	どちらともいえない				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>資格取得の必修科目である科目が100%履修になるような仕組みが必要であることを前提にしつつも、現段階ではそれに至らない。今後資格取得に関わらず、受講を促す必要性がある。内容の位置づけは妥当と桃われるが、その理解促進のためのツールも必要と考える</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

* 図書館利用の数字が低いのは、講義での説明で理解できるとらえたいが、知識理解を深めるためには、調べる・探す・求めるという姿勢を養う事も必要不可欠であることから、自発的な態度を導けるよう検討したい

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

専門科目としての位置づけ、現場からの発信ができる利点等活かし、知識の形成はおおむね達成しているが、個人差が大きい。理解の進度に差があるので、的を絞りにくい状況もあるが、事例検討、ワークを活用するとともに、振り返りや質問の時間に余裕を持ち、時には科目を横断するような内容であっても現場視点での回答をより心がけたい。学生からの質問は保育そのものがそうであるように多岐にわたりかつ横断的であることも踏まえ、記録の重要さと共にそのポイントについても授業に取り入れ、改善したい。

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育カウンセリング	2	後期	選択	いいえ	59

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機としては、「ピアヘルパー資格」の取得のために必要であるからというもの、資格と関係なくカウンセリングや授業内容に興味をもって受講している学生とに分けることができる。資格取得を目指している学生にとっては、授業内で資格試験の対策を希望する意向もあるが、資格試験を受験しない学生にとっても意義のある授業内容にするために、試験対策は授業外で行うこととした。また、選択科目であり受講生が少ないことから、グループでの活動を取り入れやすく、実際に活動しながらカウンセリングの実践につて学ぶような授業内容とした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された		やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>トータルの成績評価の平均点は81.9点であり、ほとんどの学生が授業目標を達成していると判断できる。その一方で、学生の自己評価では、「かなりそうだと思う」と回答している割合が低く、教員からの評価とのずれがあることから、やや達成されたという評価をした。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育や心理学に関連する科目についての学びをもとにした実践的な科目として位置づけられており、学生の自己評価の中で「(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた」に対して「わりにそうだと思う」と回答している学生が、他の項目に比較して多いことから、内容的に妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業内容は、体験や活動の中から考え方や技術を学んでいくものであり、学生が到達していることについて、教員からのフィードバックをより丁寧に行うことで、学生が実感をもって学びを深めることができると考えた。また、学生のニーズとして資格試験への対策を授業内で実施してほしいというものがあるが、資格試験はあくまでも授業外で実施するものであり、試験のためのサポートも授業外の時間を使って行うことが妥当であると考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

授業時間については、ほとんどの学生が積極的に参加し、授業目標を達成しているものと考えている。教員からの評価を学生にフィードバックするように心がけているが、さらなる工夫が必要であるように感じた。それに加えて、資格試験の勉強を授業外に行うようにさらに働きかけることが必要であると感じた。

学科	保育科
氏名	白川 深雪

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
歌唱法(CDクラス)	1	後期	選択	いいえ	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講者は前期の音楽理論を受講したものがほとんどでありまた前期の発声練習で基礎知識を身に付けていた為、歌唱法の授業としてのスタート準備は十分できていたようだ。選択科目であることと前期の音楽理論ですでに単位を修得した学生のほとんどは、必要性を感じなかったのか初回は受講者が非常に少なかった。保育士としての将来像よりも単位習得に重点を置く学生が多かったように思われた。前期授業の音楽理論は歌唱に必要な基礎知識であるため、歌唱とのどちらかひとつだけでなく両方を修得して総合的に実践力につなげていければと思った。受講した32名にはなるべく興味関心を持たせるよう体を動かしたり、現場に立っていることを想像しながら技能表現の力をつけていくような授業内容とし進めた。②授業の最初は十分な発声練習をし、ウォーミングアップなど体を温め、講義室に入った学生を歌うモードに切り替えるよう促した。③受け身でなく能動的に参加するよう月に一度のペースで暗譜歌唱と自作の振り付けによるグループ発表を試みた。それにより人前で発表する勇氣と自信をつけていくことができた。学生たちは楽しみながら取り組んでいる様子だった。④試験課題曲は、多くの保育園、幼稚園で歌うといわれている課題を選曲したのもあり、一生懸命取り組んでいる様子であった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>①歌唱法の授業運営の一つとした定期的なグループ発表と最終的な成績の平均は80点であり、受講者32名のうち再試対象者は0名であった。試験曲の点数が90点を超えるものが6名、80点を超えるものが18名であった。半分以上の受講生が高得点を出していたので理想とする目標は達成されたと思われる。コールユーブンゲン(基礎歌唱練習)はメロディーがなくリズムや音程を正しく歌うことが求められており、試験曲よりも点数は低い者が多かった。②専門分野で必要な技能を身につけたという到達度自己評価で3.8であり本年度初めて受け持った為昨年と比較することはできなかったが目標は達成できたとして評価する。また学習量の評価は1回以上復習をした割合が50.2%で半分であった。学修準備について次週に学ぶ曲をどのようにして前もって読んでおくべきか具体的に指示し、より充実した授業内容としていきたい。③自分たちで考えた振付で歌うことや、人前で発表することにより積極的に授業に参加する機会を与えていたのだが中には恥ずかしそうにする学生もいた。次年度では自信をもって実技を発表できる学生が増えるように課題を絞るなどして工夫したい。</p>					
* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容妥当性 本科目は保育者に必要な知識・技能を養うための専門科目である。総合的な力を養う実習関連科目の一つであり、幅広い教養を資するための選択科目という位置づけである。受講者は一定の成績を収めていることから内容的にはほぼ妥当であると思われる。②DP、行動目標から見ての内容妥当性 卒業時に最低限必要とする保育基礎技能を身に付けるための標準的レベルとして設定していた「歌詞の内容や曲想を思い浮かべて歌唱することが出来る」という目安は、手話や手振りを考え、独自の表現方法で歌うことが出来るというところまで発展したことから、標準を超え、理想的レベルに達することが出来たとと言える。よって内容的に妥当であったと考える。③カリキュラムマップ上の位置づけとしての歌唱法は保育者としての歌唱技術はピアノ演奏と同じくらいの必要性があり1年次での履修で、前期後期のどちらか一つを選択するとすると、音楽理論を習得した者は歌唱法を受講しない学生も多いことが分かった。学生たちには、選択科目ではあるが歌唱力を養うことの重要性について示す必要があると感じる。保育園、幼稚園で必ず行われるお遊戯会などの指導の必要性を考えると、1年次で培った歌唱基礎を2年次でさらに確実にし、基礎に基づいた歌唱を応用させて発展させる演技・オペレッタの授業とうまく併用できるのではないと思う。またその技能は卒業後に即実践で用いることができ、本短期大学卒業生のレベル向上にもつながるのではないかと考え、将来的に改善されることも考慮できそうな点だと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、発声練習、コールユーブンゲンによる基礎歌唱練習から子供の歌への流れで、童謡、ジブリの歌、など親しみやすい曲も多く取り入れた。受講者は積極的に参加していた。しかし全員で歌う場合、歌っていない学生中には、数名いるためそのような学生をなるべく防ぐための席順なども考慮するなどの改善をすべきであると考えた。②学生の意見から授業の質と評価としてはほとんど学生が楽しいと評価していた。授業後も将来の質問や、保育現場での質問などもいくつか受けた為授業内容としては興味のあるものであったと認識する。③学習量の評価としてシラバスを参考にした予習復習のパーセンテージをもう少し増やすよう、準備内容などをわかりやすく指示したい。③学習のための情報利用などについては、本科目受講生においては利用が少ないようだ。インターネットや図書館を利用して日本や外国の幼児教育に関連する資料や情報などを積極的に集めるよう指導していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

保育者に必要な知識と技術を養う専門科目として歌唱力を高めていくうえでは達成できたと言える。美しく響く声で歌うことはもちろん大きな声で歌うことができ、また保育現場での指導を対象とした曲を取り上げてきた。受講者は概ね基本的な歌唱能力と表現方法を身に付け行動目標に達したのではないと思う。次年度は科目名が「歌唱法」から「こどものうたあそび」に変わるため、さらには子供の手遊び歌や手話などの曲も増やしていきたい。学生たちがより積極的に授業に臨み一人一人が必要な技能を身に付けていけるよう細かく指導し多くの学生が苦手とするコールユーブンゲン(基礎歌唱練習)も充実させるようミニテストを増やすなどして具体的に授業改善したいと思う。また毎回正確に授業のねらいを指示し、その時間に習得すべき事柄を把握させたい。また学生達による自由な発言や意見を取り入れるなど、より良い授業環境を築けるよう改善していきたい。

学科	保育科
氏名	植村 和彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ピアノ奏法b(Cクラス)	1	後期	選択	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前期の「ピアノ奏法a」同様に、ピアノ演奏技能の習熟度に大きな個人差があることを念頭に置いた上で、各自の進度や演奏技術の習得状況に合わせた個別指導を行うことの出来る体制を採用している。2年間4期に渡って段階的に演奏技能を習得していくための基礎作りと実際の保育の場面において実践出来るようになることを目的としていることを十分に伝達すると同時に、週に一度の授業時間内だけでなく翌週の授業までの間に、各自で継続的に反復練習を積み重ねることが必要不可欠であるため、毎回の個別指導終了時に次回の授業までに取り組むべき課題点や履修曲目の目安等について出来るだけ明確に指示するよう心がけている。また、大きな課題に直面したり特に進度が遅れたりしている学生が精神的に追い詰められることのないよう、意思の疎通をはかりつつ、少しでも前向きに取り組むことの出来るように助言している。</p> <p>資格取得に関して「ピアノ奏法a」～「ピアノ奏法d」の4単位中2単位以上の修得が求められていることを踏まえて、本科目においても所定の課題曲を履修し1単位を修得出来るよう最大限努力すること、またどうしても課題曲の履修が間に合わず当科目の単位修得が出来ない場合でも、次期の「ピアノ奏法c」において必ず単位を修得出来るよう、自らの計画性と展望を持って受講するよう指導している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>到達度自己評価を見ると、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値は3.8点であった。また、課題曲の履修状況と期末の実技試験の評価を総合的に振り返ってみると、本科目の単位を修得した52名に関しては概ね標準的レベルに到達したことが窺えたことから、技能表現に関する目標については、やや達成されたと言えるのではないかと。</p> <p>その一方で、当科目の特性上、予め提示した課題曲の履修が間に合わなかった学生は単位を修得出来ず、次期の「ピアノ奏法c」において残された課題を補填することとしているが、これに該当する学生は20名で受講者中28%を占めた。今後、この学生たちにおいても「ピアノ奏法c」において、出来るだけ早期に当科目の標準的レベルを満たすことの出来るよう留意しつつ、さらに手厚く指導していく必要がある。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本科目は在学中の2年間4期に渡って継続的・段階的に進行していく実技系演習科目の中で、前期で習得した基礎的能力を踏まえてより実践的な力を身につけるための重要な位置にあり、資格取得を目指す上でも出来る限り単位修得しておくことを求めているものである。必要に応じて前期の基礎的な内容を振り返りつつ、ピアノ実技受講経験の浅い学生でも無理なく演習を積み重ねていくように使用教材にも配慮しており、受講者全員が個人差はあってもそれぞれの進度に合わせて技能を習得している現状から、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみても内容的妥当性 学生の技能面では大きな個人差があるが、全6名(専任1名、非常勤5名)の教員体制のもと、受講者一人ひとりの進度に個別に対応しつつも、演奏技能の基礎を固め、より実践的な能力を習得することを目標としていることを念頭に置き、教育を行っている。また、前期から運動している課題曲の設定に関しても、4期を見据えた科目であるという特性を踏まえれば概ね妥当であると考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

能力に大きな個人差のみられる実技系科目であるため、学生個人の現状をよく見極めつつ指導に当たる意識を教員間でも共有することが求められる。また、授業時間以外での自主的な予習・復習に関しては、実技系の演習科目であるという特性上、ほとんどの学生が多くの時間を充てて取り組んでいるということが、「学習量の評価」の予復習時間の集計結果からも明白である。保育科の過密な1週間のカリキュラムの中でも効率的な予習・復習を積み重ねていけるように指導・助言していくことが大切であると感じる。

授業の進め方においては、前期からの連動をしっかりと意識しつつ、何のためにピアノ演奏技能を身につけようとしているのか、学生自身が目標を見失ってしまうことのないように、今後控えている各種実習に臨む際や、就職後の保育現場での実践を日々意識・想定しながら継続的に学びを深め、技能を高めていけるように、一方的な実技指導に陥ることなく、対話を重ねながら進めていくことが重要であると考え。また、複数の教員で担当する科目であるため、グループ間で進行や指導方針等に過大な格差が生じないように十分配慮し、担当教員間で連携を図りながら進めていくことが求められる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

実技科目としての学生間の個人差はありながらも個人の進度に合わせた技能の習得については概ね達成出来たが、上述の授業の進め方や教材設定の在り方においては、引き続き改善の余地があると思われる。また、学生がより意欲的かつ主体的に学ぶことのできる授業環境を整えていくことを目的として、さらなる改善策を模索したい。

情報利用の面から見ても、シラバスの活用に関する「この授業を履修する際にシラバスの記載を参考にした」の設問に対して、59名(受講登録者中84%)が「参考にしなかった」と回答しているが、たとえ進度に大きな個人差がありシラバスに記載された各回の授業内容の目安通りに全員が進行することが不可能な本科目であっても、達成目標や授業計画の確認作業において受講者全員に大いに活用を促すとともに、引き続き担当教員からの説明と助言を十分に行っていきたいと考える。

学科	保育科
氏名	植村 和彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ピアノ奏法d(Aクラス)	2	後期	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の前に配置されている1年次前期「ピアノ奏法a」～2年次前期「ピアノ奏法c」までの単位修得状況が様々であることに加え、開講時点で学生が習得しているピアノ演奏技能にも大きな個人差があることを念頭に置いた上で、2年次前期までの学習状況を踏まえつつ、各自の進度や演奏技術の習得状況に合わせた個別指導を行うことの出来る体制を採用している。2年間4期に渡って演奏技能を習得していく段階においてより実践力・応用力を身につけていくことを目的としていることを十分に伝達すると同時に、2年次前期までと同様に週に一度の授業時間内だけでなく翌週の授業までの間に、各自で継続的に反復練習を積み重ねることが必要不可欠であるため、毎回の個別指導終了時に次回の授業までに取り組むべき課題点や履修科目の目安等について出来るだけ明確に指示するよう心がけている。また、特に開講時点でピアノ実技科目に関する資格取得要件単位を満たしていない学生や、大きな課題に直面したり進捗が遅れたりしている学生が精神的に追い詰められることのないよう、意思の疎通をはかりつつ、少しでも前向きに取り組むことの出来るように助言している。</p> <p>資格取得に関して「ピアノ奏法a」～「ピアノ奏法d」の4単位中2単位以上の修得が求められていることを踏まえて、本科目において1単位を修得出来るよう努力し、必ず資格取得要件を満たすことの出来るよう、自らの計画性と展望を持って受講するよう指導している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>到達度自己評価を見ると、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値は3.9点であった。また、課題曲の履修状況と期末の実技試験の評価を総合的に振り返ってみると、本科目の単位を修得した87名に関しては概ね標準的レベルに到達したことが窺えたことから、技能表現に関する目標については、やや達成されたと言えるのではないかと考える。</p> <p>なお、再試験対象者は5名で受講登録者中5.7%であった。</p> <p>また、クラス間で課題の進み具合や単位習得状況に格差がうまれる傾向は例年見られるものの、その理由は判然としない部分もある。今後も起こりうる可能性があるため、個別指導形式で学ぶ科目でありながらも、同時にクラス全体の状況にも十分配慮しつつ授業を進める必要があると考える。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は在学中の2年間4期に渡って継続的・段階的に進行していく実技系演習科目の総まとめである。2年次前期までの履修状況は勿論のこと、「教育実習」において各自が実習先から提示される多様な課題曲、また就職試験受験時に求められる演奏実技課題への対策など、学生一人ひとりのニーズに応じた柔軟な対応が出来る体制を整えつつ、受講者全員が個人差はあってもそれぞれ基礎技能や保育現場での応用力を高めていくことが出来ている現状から、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 学生の技能面では大きな個人差があるが、全6名(専任1名、非常勤5名)の教員体制のもと、受講者一人ひとりの進度やニーズに個別に対応しつつ、教育を行っている。既に資格取得要件の2単位を修得済みの受講者に対する課題曲(応用編)の設定に関しても、4期を見据えた科目であるという特性と、実際の保育現場で求められる演奏技能の必要性を踏まえれば妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

2年次前期までの実技科目と同様に学生個人の現状をよく見極めつつ指導に当たる意識を教員間でも共有することが求められる。また、授業時間以外での自主的な予習・復習に関して言えば、実技系の演習科目であるという特性上、ほとんどの学生が多く時間を充てて取り組んでいるということが、「学習量の評価」の集計結果からも明らかである。しかし「ピアノ奏法c」までと比較すると予復習の時間確保において学生間では個人差がやや大きいようである。保育科の過密な1週間のカリキュラムの中でも効率的な予習・復習を積み重ねていけるように指導・助言していくことが大切であると感じる。

授業の進め方においては、何のためにピアノ演奏技能を高めていく必要があるのか、学生自身が目標を見失ってしまうことのないように、今後控えている就職試験に臨む際や、就職後の保育現場での実践を日々意識・想定しながら継続的に学びを深め、技能を高めていけるように、一方的な実技指導に陥ることなく、引き続き対話を重ねながら進めていくことが重要であると考えます。また、複数の教員で担当する科目であるため、グループ間で進行や指導方針等に過大な格差が生じないように十分配慮し、担当教員間で連携を図りながら進めていくことが求められる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

ピアノ実技系演習科目の集大成にあたる本科目の位置づけからみて、個人差はありながらも演奏技能・応用力の習得および向上という点においては概ね達成出来たが、上述の授業の進め方や教材設定の在り方においては、引き続き改善の余地があると思われる。また、学生の意見を真摯に受け止め、学生がより意欲的かつ主体的に学ぶことのできる授業環境を整えていくことを目的として、さらなる改善策を模索したい。

情報利用の面から見ても、シラバスの活用に関する「この授業を履修する際にシラバスの記載を参考にした」の設問に対して、56名(受講登録者中66%)が「参考にしなかった」と回答しているが、たとえ進度に大きな個人差がある本科目であっても、達成目標や授業計画の確認作業において受講者全員に大いに活用を促すとともに、引き続き担当教員からの説明と助言を十分に行っていきたいと考える。

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
幼児体育Ⅱ(ABクラス)	1	後期	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は幼稚園教諭免許(選択必修)であるため、かなりの学生が受講している。対象学生は1年生(後期)であり、前期の幼児体育Ⅰを受講した学生のため、子どもの運動あそびや運動あそびが果たしている役割などは理解している。授業を進めるにあたって、学生たちが運動あそびを行いながら運動指導や安全管理のポイントを理解しやすいように、ディスカッションなどを取り入れた。また、今後の実習に生かせるように、部分的な模擬保育を行いグループで振り返りや反省点などをノートにまとめるように指導を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は86.7点(S-13、A-12、B-2、C-1)である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標はやや達成されたと考えている。Sを取得した学生は見本が示せたり運動指導ができるようになっている。BまたはCの学生は授業中に達成することができなかったことを授業外で個別の指導を行っていく必要があると思われる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置づけられており、幼稚園教諭免許(選択必修)、保育士資格(選択必修)の科目である。受講学生は資格取得を考えているため受講の意欲は高い。成績評価を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容は妥当であったと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

体育館という環境のため学生が説明を聞き取りやすいように注目を集めたり環境づくりに努めた。また、指導案作成等は必要な資料を図書館や教員から借りるなどして準備した。時間の関係で、グループの代表者が保育者役として模擬保育を行ったが、受講者全員が保育者役が経験できるように検討していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組みや評価結果を見ると授業の目的は達成されたと考えられる。この授業では学生相手に模擬保育を行うため、実際の子どもと重ねることが難しい。実習を通して経験した子どもの姿や発達などを、子ども役の学生に指導していくことも必要である。

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育総合表現	2	通年	選択	いいえ	93

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①学生が主体的に演習できるよう、環境づくりを整えた。 ②選択必修であり、ほとんどの学生が受講するため、クラスの垣根を超えて、学年全員が役割を全うできるよう、学年全体でひとつの作品に取り組む試みをおこなった。 ③教員が主導するのではなく、学生の中に監督、助監督を置き、学生が中心で進行できるよう、援助した。 ④担当教員4名間のコミュニケーションを重視し、それぞれの専門分野を担当しつつも、相互の連絡を密にとった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>到達度の自己評価①じぶんなりの目標を達成した(3.8)、②知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(3.7)、からもわかるように、全体をととして、教育目標はやや達成されたと言える。また、⑦専門分野で必要となる技術をみに付ける事ができた(3.6)、⑧コミュニケーション力や表現力を高めることができた(3.7)、からわかるように、技能表現においても、教育目標はやや達成されたと言える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学科の集大成としての表現活動という位置づけのため、音楽、身体、造形それぞれを統合した表現を体得できることを目標としていることから、通年として、チームワークやコミュニケーション力を養うために、自らの資質を知り、表現の媒体を選択できるよう配慮した。みずからの資質を共同作業において、生かして行くことができたことから、内容的には妥当と考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価の結果からみて、おおむね進め方については、評価されていると言えるが、担当の部署ごとに意識のばらつきがみられた。今後は、監督への負担が過剰にならないよう、また、部署ごとのリーダーシップを円滑に進めることができるよう、教員のよりきめ細やかな関わりが必要であると考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

今年度は、通年科目であったため、前期ではクラスごとの外部での発表、後期では、その経験を踏まえて学年全員で外部で発表する機会を設けた。前期の反省が生きる形での後期であったため、学生のオリジナルの作品として学生自らの手で上演できたことは、大きな成果といえよう。

来年度は、後期に週2コマ集中型の授業となるため、より、集中して作品を創る活動が可能となる。2年間使用していた会場が使えなくなるため、新たな会場を模索し、その会場の形態にあわせた形での作品づくりが求められるようになる。また、受講者数が減るため、各部署での分担の工夫が必要となる一方、よりきめ細やかな個別の対応をしていく可能性が開かれている。造形担当の教員がいなくなるため、造形部門でのフォローアップが課題である。

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キャリア講座Ⅱ	1	後期	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育科の必修科目である。前期「キャリア講座Ⅰ」において実践したレクリエーションの実践やコミュニケーション能力の向上、初年児教育に加えて、学生の協同性を高められるよう、行事の企画・運営やプレゼンテーション資料の作成・発表などを行った。具体的には、行事の企画・運営について高校生を対象とした実践や幼稚園の親子を対象とした実践を行った。実践の目的は予め学生に伝え、場はこちらが提供したが、その後は極力学生が創り出すことを心掛けた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は平均92点(最高点95点、最低点89点、S-9人、A-1人)である。全員がSまたはAを取得しており、目標はほぼ達成されたと考えられる。「到達度自己評価」については全員が「まあまあそうだと思う」以上を回答しており、授業を通して目的とする力を身につけることができたと考えられる。しかしながら、「学習量の評価」については、学生によりかなり個人差が見られる。プレゼンテーションを行ったり、実践を行う際に学生同士の取り組みに差が見られたのかもしれない。全ての学生が主体的に取り組むことができるように、次年度以降、学生指導について考慮する。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育科の必修科目であり、学年のうちの10名がゼミに分かれて行う科目である。少人数で活動するため、学生一人ひとりの果たす役割は大きく、それぞれの受講意欲は高い。DPの「態度」においても、実践したことを振り返り、課題を見出すことによって、保育者としての資質の向上にもつながっていると考えられる。以上のことより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価の平均は4.0であった。初年児教育に必要とされる力を身につけ、それを実践に結び付けていくことができるように教授内容が準備している。学生自身も、少しずつではあるが、自ら考えたことをゼミのメンバーと話し合う中で目的の達成に向けて協力する姿勢が徐々に強まっていったように感じられる。しかしながら、学生の参加の仕方や考え方に個人差があることを鑑み、全員が自身の力を十分に発揮することができるよう、学生指導を行っていくことが必要であると考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。2年次には、学生本人が希望するゼミでの活動になるが、必要に応じてサポートを行えるように関係を構築するように心掛けたい。

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キャリア講座Ⅱ	1	後期	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>地域で実施している子育て支援プログラムの中での立案と実施が授業での課題であった。また、学生の自主的な学びや参加へのモチベーション、ゼミのメンバーシップの育成のために、授業外でのレクリエーション活動を積極的に行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された				達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>ほとんどの学生が地域での活動に高いモチベーションで参加しており、自己評価はすべての項目において「まあそうだと思う」以上の回答をしていることから、達成した手ごたえを感じていると評価できるため。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>キャリア講座Ⅱは、各担当教員により専門的な学びを深めるという位置づけであり、地域の子育て支援活動を通して、対人コミュニケーションや対人支援の考え方やスキルを学ぶという内容は、妥当であると考えます。また、ゼミ内でのメンバーシップを深める中で、他者への配慮や働きかけ方について学びを深めるということも科目として妥当な内容であると考えています。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン
ターネット利用」学生の意見など

学生の学びを深めるために、研究室に必要な書籍をそろえることに加えて、図書館での参考資料の活用などを支援していく。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

教育目標はおおむね達せできていると考えられるが、学生がさらなる主体性を発揮できる場として、地域の子育て支援を活用できるようになることが望ましい。

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キャリア講座Ⅱ	1	後期	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は卒業必修科目であるとともに資格取得に必要なため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生(後期)であり、今後資格を取得するためには自ら主体的に判断してキャリアを形成していくことは大切である。学生自らが様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し解決できるように指導を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された				やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は87.2点(S-4、A-3、B-1)である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。Sを取得した学生は、保育者として自己分析ができ卒業までの課題を発見し適切な計画を立てることができるようになっていた。Bを取得した学生は、少人数のゼミナール形式であったものの、引き続き丁寧な個別指導が必要であると思われる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「総合演習」に位置づけられており、卒業必修科目であり幼稚園教諭免許、保育士資格の必修科目である。受講生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で授業を行った。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りがみられるため、すべての学生が発言しやすい環境づくりができるように検討していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は概ね達成されたと考えられる。今後の実習等の経験を生かせるように、学生がキャリア講座Ⅲに繋がて考えられるような授業展開をしていく。また、卒業後も学生が得た知識を生かすことができるような展開も心掛けていきたい。

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キャリア講座Ⅱ	1	後期	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は、卒業必修科目であるため、全員受講が決められている。そのような中で、前期科目である「キャリア講座Ⅰ」を踏まえての科目であるため受講動機にも「関心のある内容」と回答した学生がおり、自由記述においても「大学祭への取り組み」と言及していたことから、意欲的な受講であったと考えられる。</p> <p>②本科目は、実践的な学びを重視して具体的な内容を計画している。後半に実施した研究課題での取り組みについては、必要に応じて授業時間外に学生の相談にのり、授業時間内の作業が有意義に活用できるように配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生の出席率もよく、総合成績評価は、平均94.33点であった。本科目は、演習科目であり、ゼミ内で協調性を持って取り組む課題が多かった。受講生間の関係性もよく、モチベーションも均等化されており、それぞれが役割を持ってすべきことをこなしていたため、学生間での成績評価の格差は生じなかった。教員側の評価と学生の授業評価の結果も乖離はなく、DPおよび科目の到達目標は達成され、理想的レベルであった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、「専門科目」ではあるが、卒業必修科目として初年次教育を含むキャリア教育の科目として位置付けている。そのため、内容としては、短大生としての基本的な学びの姿勢、将来の保育者としての倫理観や職業観等も含んでおり、保育科教育の根拠と成す科目である。「キャリア講座Ⅱ」は、初年次教育の意味合いが強い1年前期の「キャリア講座Ⅰ」と卒業後を視野に入れより専門性が濃い2年生での「キャリア講座Ⅲ」の境界の位置づけとして、短大での学修支援と専門研究の導入としての内容は、カリキュラムマップ上、内容的に妥当だと考えている。</p> <p>②DP、行動目標から見ての内容的妥当性 受講生の意識も高く、授業評価においても、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」が平均値4.8、「職業選択の参考になった」平均値4.8と比較的高値であり、DP4である態度に関しては、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」平均値4.8、「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」平均値4.6と全受講生が到達度自己評価をしており、本科目の掲げているDPを含む科目の目標に成果が反映されていると評価できる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本科目は、学生が主体となって活動できるような実践的演習科目であるため、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機関が作られていた」の平均値は4.6と学生自身も本科目の特性をよく理解して受講していることがわかった。しかし、本科目の後半内容である課題研究への取り組みに関しては、図書館での検索を奨励していたが、授業評価においては、半数弱が「(図書館を)利用しなかった」と回答している。授業においては、全員、図書館での検索および事前の調べ学習はできており、それぞれに資料を持参してきていたが、授業評価においては回答されていなかった。学生自身の認識が「利用した」とまで思われなかったのか、授業評価の質問項目が違う解釈をしたのか、不明であるが、学生の学修への達成感、満足感が得られるように今後は方法を工夫していきたいと思っている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

今期は、授業評価のほとんどの項目が平均値が高く、学生の学修意欲に応えることができたのではないだろうかと思っている。特に自由記載にあるように、目に見える成果や達成感が得られる授業内容は、授業への意欲、意識の高さに直結すると思われる。今後も、学生達の達成感が得られるよう学修支援をしていきたいと思っている。

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キャリア講座Ⅱ	1	後期	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>全キャリア講座が大切にしている、「保育者としての業意識や態度、子どもを総合的に理解しそれに基づく援助を行っていく専門的知識・技能、保護者や地域と連携することのできる調整力」に基づき、「キャリア講座Ⅱ」では、自己を見つめ将来像を明確にしていく過程において、身につけておくべき基本的なマナーを学ぶこと、また、他者に伝える力を養える内容を取り上げ、プレゼンテーション力を重視して授業を進めた。学生自らが研究テーマを見いだせるよう援助し、教員主導ではなく、学生自らが主体的に進められるよう、配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された				やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、①自分なりの目標を達成した(3.5)、⑨職業倫理や行動規範について学ぶ事ができた(3.5)、などから、全体として教育目標がやや達成されたと言える。達成の目安の標準レベルである「社会人として、保育者として必要な基本的なマナーがわかる。また、一連の研究プロセスに基づいて課題解決に取り組もうとし、自分の意見を他者に伝えることができる。」に対し、マナーの学びや研究プロセスにおいても、学生が主体的に進めることができ、その成果を他者にわかりやすく表現することができたため、態度についても、やや達成されたと言える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は社会人基礎力を養う「必修」科目である。グループとして自ら課題を設定し、発表にむけ切磋琢磨しながら、学外の社会の現場を発表の場として設定し、北九州市との共催として実施したことは、学生たちが専門分野の知識を生かし、社会において実践するためには妥当だったと言える。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 到達度自己評価の全てにおいて、平均として3.5ポイントであったことも、本科目の行動目標①②③すべてにおいて、学生自らが到達できたことの現れであり、内容的に妥当であったと言える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては、平均が3.6ポイントであり、大きな問題はみられないが、学習量において、活動の記録ができていなかったことが課題としてあげられる。記録の取り方について、今後検討する必要がある。また、情報利用や図書館利用についても、最新の情報に触れられるように促す工夫を検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

社会人基礎力を養う、必須科目である「キャリア講座Ⅱ」の位置づけからも、トータルとして、学生の達成度が高かったことは今後につなげていきたいが、個人レベルでは、より細かい指導を必要としている学生もいる。極めの細かい指導を心得、一人ひとりがより積極的に関わられるよう、サポートしていきたい。

学科	保育科
氏名	植村 和彦

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キャリア講座Ⅱ	1	後期	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「キャリア講座Ⅰ」同様少人数制による演習という特性を生かし、出来る限り個別にコミュニケーションをとりつつも、受講者一人ひとりが主体的に演習や活動に参加できるような授業環境づくりに配慮した。また、学生の受講動機に関する回答では、①「必修科目である」(選択率100%)がほとんどであったが、2年次の「キャリア講座Ⅲ」まで3期にわたって、保育者としての「人間関係形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「課題対応能力」、「キャリアプランニング能力」等を身につけていく上での、発展的な科目である本科目の、学科のカリキュラム上での重要性を受講者が認識した上で、取り組めるように心がけた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された				やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価を見ると、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値が3.4点であったこと、「自分なりの目標を達成した」の平均値が3.9点であったことから、技能表現に関わる目標については、やや達成されたと言えるのではないかと。また、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値が3.4点となっていることから見ても、態度に関する目標についても、やや達成されたということが言えるのではないかと。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は2年間に渡って継続的・段階的に進行していく「キャリア講座Ⅰ」～「キャリア講座Ⅲ」の中核的な位置にあり、必修科目となっている。2年間の短期大学部での学習の動機づけ、保育者・社会人として必要な基本的スキルを身につけていくための内容が組まれており、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 少人数によるゼミ制のもとで、学生自身が他者とのコミュニケーションの中で、それぞれ自己の役割を見出し、他者を認めつつ協働して取り組む姿勢を身につけることを重視している。また、自分自身の将来の見通しを立て、具体的な行動目標を立てて実施できることを理想としており、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値が3.6点、それ以外の4項目の平均値も3.4点～3.7点であった。また、図書館等の利用においては、「図書館の図書、雑誌を利用した」が9名中4名、「図書館から利用できる学術データベースを検索し、利用した」が9名中1名、「インターネットのホームページを検索し、利用した」が9名中3名であった。学生全員が主体的に図書館等を利用した調査に参加できるように促したい。学習量の評価における「自発的学習」の項目で9名全員が「していない」と回答していることを踏まえ、授業で取り扱われる内容から学生自身がさらに学びを広げていくことのできるような工夫をしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

ゼミ活動において欠かす事のできないコミュニケーション能力の構築と自己の役割を把握しつつ他者と協働する力が身につけやすい設定となっていた。全体として達成度や内容の妥当性などに関しては問題ないと考えられるが、学生個人の取り組みや学習状況を振り返ると、課題もある。グループによる演習形態を採っているからこそ、学生個人に対する支援を怠らず、各自が自らの意思表示をしつつ個性を發揮していけるような、優れた協調性を育むことができるよう促していきたい。

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キャリア講座Ⅱ	1	後期	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業では、1年次前期に開講した「キャリア講座Ⅰ」での学びを踏まえ、「人間関係形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプラン能力」のさらなる獲得へ向け、大学祭でのイベントの企画・運営などの取り組みをおこなった。またそれらの保育者・社会人として必要となる基本的な力を養うため、丁寧な個別対応につとめた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された				やや達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な評価として、全ての受講生がS評価であった。</p> <p>他方、学生による授業評価をみると、「学習達成度の自己評価」「授業の質的評価」のすべての項目に対して、「まあまあそうだと思う」以上の評価がなされている。しかし、「学習量の評価」では、授業準備や復習にかんする項目で全ての学生が1回以下、授業以外の自主的な学習に関する項目で88%がしていないと評価している。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「専門科目」における「総合演習」として、保育者・社会人としての人間形成を行ううえで基底をなす位置にあり、必修である。</p> <p>DPに関して、「学習達成度の自己評価」における態度を示す項目で、全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。</p> <p>以上から、内容的妥当性に問題は無いと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業では、学生が主体的に取り組むことができるよう、可能な限り学生が発言できる機会をつくっている。また、学習への動機づけや健全な学生生活リズムづくりができるよう、個別的なサポートを心掛けた。
他方、学生の自己評価をみると、授業を振り返るための復習や授業の課題以外での学習に関して、多くの学生が低い評価をつけている。学生の自主的、主体的な学習スタイルの構築を支援していくためにも、さらに意識的な声掛けや個別的サポートを行い、改善を図りたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

学生の評価結果から、本科目の学習目標は全体的には概ね達成できたと考えますが、学生の自主的、主体的な学習スタイルの構築という点では課題を残す結果となった。今後は今回みえてきた課題を改善すべく、意識的なかわりを行っていくとともに、個別的対応の充実を図っていきたい。

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育・教職実践演習(幼稚園)	2	後期	選択	はい	94

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>人のライフステージにおける「保育」を通して、保育者養成のメッカである本科目の要は、まず、実習と実践演習である。保育科の生粋の専門家によるテーマごとにおける講義内容に合わせて組み立てられているものである。現場においては本人、親、子どもという人間関係の中での保育者養成であるので、人との協働がどの様な意義を持つものか、講義において、各担当教師がシミュレーション的授業を展開して、関心を引き付けるようにしている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された		やや達成された	達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本学科を希望する学生は、本気に保育者となることを切望する者であり、並々ならぬ気迫に満ちている。したがって、1パーセントの学生を除いて全員が標準的レベルに達している。ただし、理想的レベルは70パーセントあたりである。しかし、問題意識、思考判断においては上昇している傾向にあり、数回の実習において、また、実践演習において、顕著な成果がみられる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門科目」でもあり、就職のためにも欠かすことのできない重要科目である。したがって、内容的に妥当である。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 学生の受講動機はそのまま引き続き高まり、非常に熱心に取り組んでいるゆえ、内容的に妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

毎年のことではあるが、学生の質も年々変化しているので、授業の質評価において、このたびは、じっくり考える時間がやや少なかったように思われる。もちろんすべてではないが、復習の時間も少なかったのは事実である。そういった点をもう少し濃いやかに検討していきたいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

達成状況としては、概ね達成できたと思われる。しかし、昨今、途中で保育者になることを辞退する者が出てきていることも事実である。主体性のない学生が増えてきていることがその一番の要因であろうと思われる。保育科の学生たちのかげがえのない、未来に向けての志気の高まりがさらに高揚するべく、講義の在り方を検討してゆきたいと考えている。

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅲ	2	通年	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>施設実習のための指導を行う科目であり、様々な児童福祉施設の特徴や役割の理解を深めるとともに、学生の生活技術や社会人としてのマナーなどを含めた指導と助言を行っている。また、2年生での実習は就職活動とも関連している要素があり、将来を見据えて実習に取り組めるように指導している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講した学生のほとんどは、実習を無事に終了し、実習により児童福祉施設やそれを利用する子ども達への理解を深めていることから、教育目標を達成しているものと考えている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>実習と実習指導はDPの全ての項目と関連しており、学内で受講した科目の知識を総合的に活用し発揮する場である。内容的妥当性は、学生の授業評価アンケートの結果からは難しいが、実習生に対する実習機関からの評価からは、おおむね妥当であったと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン
ターネット利用」学生の意見など

保育実習指導Ⅰや保育実習指導Ⅱ、さらには教育実習指導との連携を密にし、過不足なく実習指導が行えるように、内容の精査を重ねていく必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の実習中の様子や事後指導の様子から実習指導における教育目標は達成できていると感じている。また、実習機関からは、多くの学生が良い評価を受けている。今後もこのような質を保つことが課題といえる。